

# 岩手県立大学 2018(H30)年度 新入学者アンケート

集計結果報告書（抜粋）

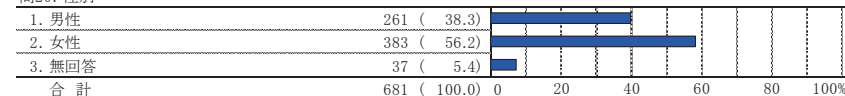
2018（H30）年7月

1. 調査の概要	1
2. 調査結果の要約	2

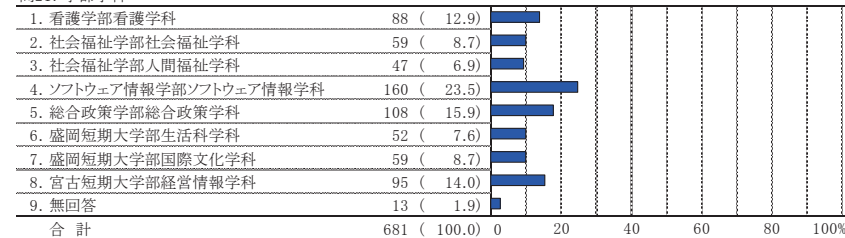
## 1. 調査の概要

- ① 実施時期・方法：2018年4月新入生オリエンテーションにて配布・回収
- ② 対象：岩手県立大学新入学者 713名
- ③ 回答・回収状況：681票（回収率：95.5%）
- ④ 回答者内訳

問20. 性別



問21. 学部学科



## 2. 調査結果の要約

### 問 1 第一希望の大学

全体では「第一志望だった」72.2%、「第二志望だった」18.1%、「第三志望以下だった」9.1%となっている。

本学が「第二志望だった」、「第三志望以下だった」と回答した新入学者が記載した「他に受験した大学」は、記載件数の多い順に「岩手県立大学」(37件)、「岩手大学」(31件)、「山形大学」(12件)、「秋田大学」(11件)、「弘前大学」(8件)、「東北学院大学」(7件)、「宮城大学」「盛岡大学」(ともに6件)となっている。

### 問 2 本学の入試に関する情報の入手方法

本学の入試に関する情報の入手方法上位 3 項目は、「入学案内(冊子)を読んだ」46.8%、「本学のホームページを見た(TwitterまたはFacebookを含む)」34.1%、「高校の先生からアドバイスを受けた」28.5%となっている。

### 問 3 本学の入学案内(冊子)の閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学の入学案内(冊子)を見た学生は 87.5%。そのうち 96.4%が、大学について「大変よく理解できた」26.8%、「概ね理解できた」69.6%と回答している。

### 問 4 本学の大学説明会やオープンキャンパスへの参加状況と参加時の満足度

受験にあたり、本学の大学説明会やオープンキャンパスに参加した学生は約 5 割。参加割合が最も高いのは社会福祉学部社会福祉学科 66.1%、最も低いのは盛岡短期大学部生活科学科 35.8%となっている。満足度については、参加した学生の 98.6%が「大学について大変満足できた」43.4%、「概ね満足できた」55.1%と回答している。

### 問 5 本学のホームページの閲覧状況と満足度

受験にあたり、本学のホームページを閲覧した割合は 82.7%。閲覧したと回答した学生の 90.6%が、大学について「大変良く理解できた」28.1%、「概ね理解できた」62.5%と回答している。

### 問 6 本学受験や入学前の問い合わせ状況

全体としては、12.9%が何らかの問い合わせをしている。学部学科別で 2 割以上の問い合わせをしたのは、宮古短期大学部のみとなっている。

### 問 7 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「センター試験の後」31.7%が最も高くなっている一方、次いで「高校 2 年以前」15.9%が高くなっている。

### 問 8 本学への受験・入学形態

新入学者の受験・入学形態の状況全体としては、一般入試が(前期)46.3%、(後期)10.7%で合わせて 57.0%、次いで推薦 33.0%、AO入試 3.7%となっている。

### 問 9 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか

「ホームページや入学者選抜要項等で公表している入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか」という設問に対して、「参考になった」「どちらかといえば参考になった」と回答した割合は、全体としては 84.6%となった。

### 問 10 大学進学を考えた理由

新入学者が大学進学を考えた理由の上位は、「専門的知識や技術を修得するため」46.5%が最も高く、次いで「資格を取得するため」26.3%、「就職に有利だから」26.0%となっている。学部・学科ごとに特色も出ている。

### 問 11 進学や受験のときに本学を選んだ理由

進学や受験のときに、本学を選んだ「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみていくと、「公立(県立)大学である」69.9%に次いで「資格の取得」37.7%、「教育課程や授業構成内容」29.7%、「卒業生の就職先や就職率(就職に有利)」29.4%、「教育設備(図書館、情報機器など)」28.8%となっている。

### 問 12 一般的な受験大学選択の理由

「学校案内書や HP の内容」「建学の精神や教育理念(理念と目標)」「クラブ・サークル活動が活発である」「両親の意見や薦め」「留学制度や単位互換制度などの充実度」「推薦入試制度がある」「先輩や友達が入学した」などの項目において、「本学を選んだ理由」が一般的な理由と比較して順位が高くなっている。

### 問 13 筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性

筆記試験問題の難易度、解答時間、内容の適切性について、全体として「適切でないと思った」のは、筆記試験を受けた学生 588 人のうち 9 人(1.5%)であった。

### 問 14 面接や面談での質問内容や実施方法の適切性

面接や面談を受けた学生 398 人(無回答を除く)のうち、「適切でないと思った」のは 1 人。「どちらともいえない」は 13 人。面接や面談を受けた学生 398 人のうち 384 人(96.5%)が「適切だと思った」と回答している。

### 問 15 試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性

試験のときの教職員の対応、試験室等の設備、会場案内の適切性についての「適切でないと思った」のは全学で 5 人。「どちらともいえない」は 15 人となっている。

### 問 17 現時点における自分の進路・将来像

「現在、あなたは自分の将来についてどのように考えていますか」という設問について、全体としては「学びの専門性を活かせる就職」が 60.4%、「大学院への進学(または学部への編入学)」が 12.9%となっているが、その割合が高いのは短期大学部生の学部編入である。

**問 18 就職を希望する場合の希望勤務地**

就職を希望する場合の希望勤務地については、全体としては「県内」32.9%、「東北」30.5%となっており、地元志向が強いといえよう。

学部別にみると「ソフトウェア情報学部」の「関東」への割合が 36.3%と他学部と比較して突出して高くなっている。

以上